

目標達成計画

作成日: 令和 2 年 3 月 23 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	職員は、ご入居者の気分の変化や不穏の前兆を把握できておらず、ケアが後手になっている。	職員は、積極的にご入居者と関わることで、気分の変化や兆しに気づき、迅速で適切な本人本位のケアを行うことができる。	1. 積極的にご入居者と関わる第一歩として、職員は出勤時に全ご入居者一人ひとりに挨拶や声掛けを行う。 2. 本人本位の適切なケアに向けて、各ご入居者の観察のポイントや関わり方を、日々の申し送りや毎月のカンファレンスで共有する。	12ヶ月
2	27	介護計画書に基づいたケアを実践しているが、個別記録への記入漏れやケアの共有が出来ていない場面が見られる。	介護計画書に基づいたケアを行い、確実に個人記録に記入する。	1. 全ご入居者の介護計画書の一覧を作成し、フロア内で回覧できるようにする。 2. 職員に対して、決められたケアの内容を指導し、介護計画書に基づいたケアを確実に行う。 3. 介護計画書に基づいたケア内容が記載してある個別記録を作成し、使用する。	12ヶ月
3	29	地域資源を把握してはいるが、限定的な協働に留まっている。	地域と関わる範囲を増やし、ご入居者が安全で豊かな暮らしを楽しむことを増やす。	1. 地域の保育園、学童保育所や学校等との関係を築き、交流する機会を持つ。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。